

誓いの言葉

本日は、二十歳という節目の年を迎えた私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。また、上田市教育委員 安達永眞 様をはじめ、開催にあたりご尽力くださいました皆様、ご多忙の中、本日の式典にご臨席を賜りましたご来賓の皆様、出席者を代表して心より感謝を申し上げます。

こうして無事にこの日を迎えることができたのは、深い愛情を持って育ててくれた家族や、いつも優しく時には厳しくご指導いただきました先生方、私たちを温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげであることを深く感謝し、お礼を申し上げます。

私たちは、現在、勉強に励んでいる人や、既に社会人として仕事に就いている人もおり、様々な環境で、それぞれが夢や目標に向かって、毎日を過ごしています。

私は今、地元の企業で働いています。職場ではいろんな仕事を任せていただき、毎日がスキルアップの連続で、先輩方には感謝しかありません。会社の一員として何かを作り上げていくという自覚とやりがいも感じるできるようになりました。

その一方で、社会人としての自覚に欠け、何もかも放り出したい気持ちになったこともありました。それは、学生時代には味わったことのない、初めての経験でした。

振り返れば、家族や友達、会社の先輩方といった大勢の人たちの支えがあったからこそ、これを乗り越えることができたと思います。

二十歳を迎え、今後は何事も自分の力で、困難な道を切り拓いていけるように努力します。そして、私をここまで育てくださった皆さんに、立派になった姿をお見せし、「ありがとうございます」と感謝の気持ちを伝えることができるように、頑張っていきます。

私には叶えたい夢があります。それは、将来、資格を取って、家族で動物に関わるお店を開きたいということです。人と動物が支えあい、幸せな毎日を過ごすことができるためのお手伝いをすること、絶対に叶えたいと思います。

最後に、この会場に集まった私たちが、社会の一員としての自覚、感謝や謙虚な気持ちを持ち、どんな困難にも負けず、それぞれが夢と希望に満ちた未来を切り拓いていくことを宣言し、誓いの言葉といたします。

令和8年1月11日

上田文化会館会場

(第一・第二・第三中学校区域)

代表 西澤 佑菜